

様式 1

事業報告書		
医療法人整理番号		01513
報告期間	自	令和6年1月1日
	至	令和6年12月31日
1 事業報告書の概要		
(1) 名称	医療法人芙蓉会	
分類①	社団（出資持分あり）	分類①から③のそれぞれの項目（③は社団のみ。）について、該当するものをリストから選択すること。（会計年度内に変更があった場合は変更後。）
分類②	その他	
分類③	基金制度不採用	
(2) 事務所の所在地	都道府県 市区町村 町名・番地 建物名	複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
	福岡県 大野城市 大字牛頸1034-5 （記載はこちら）	
(3) 設立認可年月日	平成9年11月4日	
(4) 設立登記年月日	平成9年11月12日	
(5) 理事長の氏名	姓 名	土器 恒徳
役員及び評議員の人数	6人	理事長を含む人数を記載すること。
役員及び評議員	（記載はこちら）	
2 事業の概要		
(1-1) 本来業務（病院、診療所）	（記載はこちら）	
(1-2) 本来業務（介護老人保健施設、介護医療院）	（記載はこちら）	
(2) 附帯業務	（記載はこちら）	
(3) 収益業務	（記載はこちら）	
(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項	（記載はこちら）	
(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債	（記載はこちら）	(5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。
(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債	（記載はこちら）	
(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設	（記載はこちら）	
(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容	（記載はこちら）	全ての指定内容について記載しても差し支えない。
(9) その他	（記載はこちら）	当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）

樣式 1 : 1-(2)

事業報告書

1-(2) 従たる事務所の所在地

樣式 1 : 1-(5)

事業報告書

1-(5) 役員及び評議員

事業報告書

2-(1) 本来業務

(開設する病院、診療所（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務)

事業報告書

2-(1) 本来業務

(介護老人保健施設又は介護医療院(医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。)の業務)

樣式 1 : 2-(2)

事業報告書

2-(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

樣式 1 : 2-(3)

事業報告書

2-(3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

事業報告書

2-(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

注) 2-(5)、2-(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくとも差し支えないこと。

2-(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。

医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

2-(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しております。これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由

注)

1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。
 2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

2-(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

2-(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

2-(9) その他

様式2

法人名：医療法人芙蓉会

所在地：福岡県大野城市大字牛頸1034-5

※医療法人整理番号

1513

財産目録

(令和6年12月31日現在)

1. 資産額	2,826,479 千円
2. 負債額	405,611 千円
3. 純資産額	2,420,868 千円

(内訳)

(単位：千円)

区分	金額
A 流動資産	1,719,654
B 固定資産	1,106,825
C 資産合計 (A+B)	2,826,479
D 負債合計	405,611
E 純資産 (C-D)	2,420,868

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土地 (□ 法人所有 ■ 貸借 □ 部分的に法人所有(部分的に貸借))

建物 (□ 法人所有 ■ 貸借 □ 部分的に法人所有(部分的に貸借))

法人名 医療法人芙蓉会
 所在地 福岡県大野城市大字牛頭1034-5

※医療法人整理番号 01513

貸借対照表
令和6年12月31日 現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	1,719,654	I 流動負債	232,149
現金及び預金	1,261,928	貯掛金	16,786
事業未収金	419,249	短期借入金	11,258
医薬品	8,796	未払法人税等	769
貯蔵品	8,414	未払消費税等	1,301
前払費用	5,066	未払金	107,995
未収金	4,965	未払費用	77,157
その他の流動資産	13,736	預り金	5,797
貸倒引当金	-2,500	賞与引当金	11,086
		預り金	
		前受収益	
		その他引当金	
		その他の流動負債	
II 固定資産	1,106,825		
1 有形固定資産	313,235	II 固定負債	173,462
建物	155,435	長期借入金	40,746
構築物	5,941	長期末払金	9,702
医療用器械備品	11,988	退職給付引当金	123,014
車両及び船舶	3,826	その他引当金	
その他の器械備品	14,976	その他の固定負債	
有形リース資産	16,632		
土地	104,437		
その他の有形固定資産			
		負債合計	405,611
		純資産の部	
2 無形固定資産	33,754	科目	金額
ソフトウェア	33,068	I 出資金	56,000
その他の無形固定資産	686	II 積立金	2,364,868
その他の無形固定資産		繰越利益積立金	2,364,868
3 その他の資産	759,836	その他積立金	
有価証券	430,116	III 評価・換算差額等	
長期貸付金	3,000	その他有価証券評価差額金	
長期前払費用	3,786	繰延ヘッジ損益	
その他の固定資産	322,934		
役職員等長期貸付金			
長期前払費用			
繰延税金資産			
その他の固定資産			
		純資産合計	2,420,868
		負債・純資産合計	2,826,479
資産合計	2,826,479		

(注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。

法人名 医療法人芙蓉会
所在地 福岡県大野城市大字牛頭1034-5

医療法人整理番号	01513
----------	-------

損 益 計 算 書
自 令和6年1月1日 至 令和6年12月31日

(単位：千円)

科目		金額	
I 事業損益			
A 本来業務事業損益			
1 事業収益			2,046,181
2 事業費用			
(1) 事業費		1,144,640	
(2) 本部費		1,116,634	
本来業務事業損失			215,093
B 附帯業務事業損益			
1 事業収益			
2 事業費用			
附帯業務事業利益			0
C 収益業務事業損益			
1 事業収益			
2 事業費用			
収益業務事業利益			0
II 事業外収益	事 業 損 失		215,093
受取利息		8,560	
その他の事業外収益		76,384	84,944
III 事業外費用	事 業 損 失		
支払利息		1,520	
その他の事業外費用			1,520
IV 特別利益	経 常 損 失		131,669
固定資産売却益			
その他の特別利益			0
V 特別損失	固定資産売却損		
その他の特別損失			0
	税引前当期純損失		131,669
	法人税・住民税及び事業税	886	
	法人税等調整額		886
	当期純損失		132,555

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

様式5

様式5

法人名 医療法人芙蓉会
所在地 福岡県大野城市大字牛頸1034-5

※医療法人整理番号 1513

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員の近親者が代表者である法人	株芙蓉開発	福岡市博多区山王1-10-29	2,073,815	不動産	土地建物の賃貸	土地建物の賃貸	284,010	地代家賃	0

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)

様式 6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人芙蓉会会
理事長 土器 恒徳 殿

私（注1）は、医療法人芙蓉会の令和6年会計年度（令和6年1月1日から令和6年12月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に準拠して、作成されているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に準拠して、作成されているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和7年2月15日
医療法人芙蓉会
監事 香田 博

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」、医療法第51条第2項に規定する医療法人については、「財産目録、貸借対照表及び損益計算書（医療法人会計基準第3条に規定する重要な会計方針の記載及び第22条に規定する貸借対照表等に関する注記を含む）、純資産変動計算書及び附属明細表」とする。